



上海事務所

# NCB 海外レポート

## 『中国社会』 デジタル化最新事情 ②

### ～中国の無人店舗型サービスについて～

#### ◇ 「非対面型」のビジネスモデルとして急成長

- ・ 現在、中国ではコンビニやカラオケボックス、カフェなどの無人店舗型サービス（以下、無人サービス）が存在しており、駅構内や商業施設に出店しています。
- ・ 中国無人サービスの先駆けとしては、2016年8月に広東省中山市に開店した無人コンビニ「Bingobox」が有名です。同店は、2017年に上海市に進出し、2018年には北京、広州、大連など全国40都市に400店舗まで拡大しました。
- ・ 無人コンビニの登場により注目を集めた無人サービスは、様々な業種が参入し、提供されるサービスも多様化しています。さらに、新型コロナウイルス感染症が拡大した2020年以降は、非対面型のビジネスモデルとしても注目を集めています。
- ・ 中国の市場調査会社「智研諮詢（ズーイェンズーシュン）」の発表によると、2020年の中国の無人サービスを提供する企業は、コロナ禍による非対面型サービス需要の増加を受け、前年比+4,935社の8,932社となり、2016年と比較すると約5倍の規模となりました。



無人コンビニ「Bingobox」  
専用のスマホアプリにより入退店時の  
ドアの解錠や商品購入・決済を行う。

#### ◇ 無人サービスの更なる発展

- ・ 中国で無人サービスが発展する背景として、少子高齢化による人手不足の深刻化も挙げられます。無人サービスは、消費者の利便性向上やデジタル化の促進だけではなく、社会問題の解決にも繋がるビジネスモデルとして認識されています。
- ・ また、中国では書店や中華料理店、ホテルなど複雑なシステムを用いた新形態の無人サービスも登場しています。

#### 〈トピックス〉 当事務所所員が体験！「スマート皮膚測定ステーション《AI肌》」

- ・ この無人サービスは、上海市内の駅構内にあり、ブース内のモニターに性別、年齢などの事項を入力後、測定機で肌質のタイプや状態を判定します。
- ・ 肌の乾燥度合いやシミ・シワなど、10項目の問題を検知し、診断結果に応じた改善指導やおすすめ商品（市販のスキンケア用品）の提案などを専用のスマホアプリ上で確認することができます。



「AI肌」の店舗外観は  
ネオンライトで輝いており、  
人が行き交う駅構内で  
ひととき存在感を放っています。



室内にある照射口に顔を挿入し、  
約30秒で診断が完了します。  
結果はWechat (SNS) を介して  
レポート形式で送られます。  
1回あたり10元（約170円）。

2021年9月1日作成

西日本シティ銀行上海駐在員事務所